



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部副部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	71,129	1.9	8,580	30.6	8,386	28.7	5,626	27.8
24年3月期第2四半期	69,829	△3.1	6,568	△21.3	6,515	△16.9	4,401	△21.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,997百万円(24.9%) 24年3月期第2四半期 4,001百万円(△7.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	33.63	—
24年3月期第2四半期	25.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	173,531	117,532	67.2
24年3月期	190,113	119,645	62.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 116,564百万円 24年3月期 118,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	4.3	18,600	20.2	18,600	17.2	12,600	14.8	76.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	171,000,000株	24年3月期	171,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,257,524株	24年3月期	885,647株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	167,303,292株	24年3月期2Q	170,114,563株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成24年10月30日(火)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の国内経済は、公共投資を中心とする東日本大震災からの復興需要が下支えをしましたが、海外経済の減速を背景として輸出が弱含んだことから、回復に向けた動きが足踏み状態となりました。

このような状況のもと、化学品部門はメラミン(合板用接着剤原料等)をはじめ輸出が大きく減少しました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料では顧客の稼働率上昇、半導体材料では半導体の高集積化に伴う多層材料の伸長により増収となりました。農業化学品部門は、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)、チフルザミド(殺菌剤)が好調に推移しました。また、医薬品部門は、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)の原薬出荷が国内外ともに増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高711億29百万円(前年同期比13億0百万円増)、営業利益85億80百万円(同20億12百万円増)、四半期純利益56億26百万円(同12億24百万円増)となりました。

化学品部門

基礎化学品は、尿素、硫酸が順調に推移しましたが、メラミンの海外需要が低迷したことから売上高が前年を下回りました。また、ファインケミカルは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)の粉体塗料用硬化剤向けの販売が落ち込んだことなどにより減収となりました。この結果、当部門の売上高は178億96百万円(前年同期比6億90百万円減)、営業利益は8億1百万円(同10百万円増)となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、スマートフォンおよびタブレットPCに加え、テレビ用液晶パネル向けが増加しました。また、次世代半導体向けの多層材料の需要が拡大しました。一方、「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、主要顧客向け販売が前年水準まで回復するには至りませんでした。この結果、当部門の売上高は、188億9百万円(前年同期比17億90百万円増)、営業利益は41億37百万円(同15億86百万円増)となりました。

農業化学品部門

国内では「シリウス」(水稲用除草剤)は競争激化により減少しましたが、「ラウンドアップ」は一般家庭用を含め好調に推移しました。海外では、「タルガ」(畑作用除草剤)がインドの干ばつ等の影響を受けましたが、チフルザミド、「サンマイト」(殺虫・殺ダニ剤)の販売が増加しました。この結果、当部門の売上高は133億72百万円(前年同期比9億7百万円増)、営業利益は13億49百万円(同5億30百万円増)となりました。

医薬品部門

「リバロ」は、国内で順調にシェアが拡大しました。また、海外向けも堅調に推移し、原薬の販売が増加しました。一方、開発中の新薬に関するライセンス一時金収入(マイルストーン)はありませんでした。この結果、当部門の売上高は53億5百万円(前年同期比93百万円増)、営業利益は25億73百万円(同44百万円減)となりました。

卸売部門

電子材料関連製品および農薬などの販売が伸長し、当部門の売上高は226億65百万円(前年同期比1億32百万円増)、営業利益は6億57百万円(同37百万円減)となりました。

その他の部門

エンジニアリング事業の増収などにより、当部門の売上高は101億95百万円(前年同期比8億49百万円増)、営業利益は1億38百万円(同1億29百万円増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比165億82百万円減の1,735億31百万円となりました。

負債合計も有利子負債が減少したことなどから、前連結会計年度末比144億69百万円減少し、559億99百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比21億12百万円減の1,175億32百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比4.8ポイント増加し、67.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、219億7百万円の収入（前年同期は204億14百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、農業化学品部門などの設備投資を中心に48億9百万円の支出（前年同期は62億97百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、借入金の返済、自己株式の取得などにより226億30百万円の支出（前年同期は96億2百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額1億21百万円を差し引き、前連結会計年度末に比較して56億54百万円減少し、222億52百万円（前年同期は252億26百万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、海外経済の先行き不透明感が強まるなど、予断を許さない事業環境が継続するものと想定しております。このような情勢におきましても、既存製品の拡大、新製品の創出に注力するとともに、将来に向けた設備投資を積極的に実施してまいります。

通期の業績予想に関しましては、足元での需要予測をもとに、平成24年7月31日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。なお、ナフサ市況については49,000円/k1、為替については1米ドル79円を前提としています。

平成25年3月期 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成24年7月発表)	百万円 153,000	百万円 17,200	百万円 17,400	百万円 11,400	円 銭 68.02
今回修正予想 (B)	155,000	18,600	18,600	12,600	76.95
増減額 (B-A)	2,000	1,400	1,200	1,200	—
増減率 (%)	1.3%	8.1%	6.9%	10.5%	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	148,578	15,477	15,873	10,975	64.52

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,906	22,252
受取手形及び売掛金	55,526	43,399
商品及び製品	24,374	24,077
仕掛品	47	661
原材料及び貯蔵品	4,987	5,399
その他	5,551	5,208
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	118,383	100,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,893	20,230
その他(純額)	23,833	25,571
有形固定資産合計	44,726	45,801
無形固定資産		
のれん	1,746	1,431
その他	1,004	959
無形固定資産合計	2,751	2,391
投資その他の資産		
投資有価証券	22,325	21,465
その他	2,087	2,994
貸倒引当金	△160	△111
投資その他の資産合計	24,252	24,349
固定資産合計	71,729	72,542
資産合計	190,113	173,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,281	14,812
短期借入金	27,847	14,701
未払法人税等	1,905	2,839
賞与引当金	1,745	1,666
役員賞与引当金	30	16
その他	7,906	10,567
流動負債合計	56,716	44,604
固定負債		
長期借入金	11,049	8,659
退職給付引当金	505	444
その他	2,197	2,291
固定負債合計	13,752	11,394
負債合計	70,468	55,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	86,507	90,093
自己株式	△1,072	△6,072
株主資本合計	117,988	116,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	1,455
為替換算調整勘定	△1,378	△1,465
その他の包括利益累計額合計	642	△9
少数株主持分	1,014	968
純資産合計	119,645	117,532
負債純資産合計	190,113	173,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	69,829	71,129
売上原価	46,084	45,276
売上総利益	23,744	25,852
販売費及び一般管理費	17,176	17,272
営業利益	6,568	8,580
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	318	301
持分法による投資利益	79	302
その他	501	514
営業外収益合計	911	1,129
営業外費用		
支払利息	232	192
為替差損	330	273
休止損	118	303
その他	282	553
営業外費用合計	963	1,322
経常利益	6,515	8,386
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	6,515	8,386
法人税、住民税及び事業税	1,832	2,925
法人税等調整額	240	△201
法人税等合計	2,072	2,723
少数株主損益調整前四半期純利益	4,443	5,662
少数株主利益	41	35
四半期純利益	4,401	5,626

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,443	5,662
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△564
為替換算調整勘定	△494	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△441	△665
四半期包括利益	4,001	4,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,010	4,974
少数株主に係る四半期包括利益	△8	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,515	8,386
減価償却費	4,870	4,368
受取利息及び受取配当金	△329	△312
支払利息	232	192
固定資産処分損益（△は益）	119	155
売上債権の増減額（△は増加）	14,823	12,040
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,378	△790
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,491	△2,428
その他	1,023	2,022
小計	23,386	23,634
利息及び配当金の受取額	329	372
利息の支払額	△234	△193
法人税等の支払額	△3,066	△1,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,414	21,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,929	△3,877
有形固定資産の除却による支出	△93	△85
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△166	△79
その他	△1,108	△766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,297	△4,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,410	△12,003
長期借入金の返済による支出	△4,024	△3,490
配当金の支払額	△2,041	△2,041
少数株主への配当金の支払額	△121	△71
自己株式の取得による支出	△0	△5,000
その他	△4	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,602	△22,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	△414	△121
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,099	△5,654
現金及び現金同等物の期首残高	21,126	27,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,226	22,252

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

会社法第165条2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成24年5月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議し、平成24年8月30日の買付をもちまして終了いたしました。主にこの結果により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が5,000百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は、6,072百万円となっております。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損 益計算 書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	14,549	14,544	11,743	5,190	18,932	4,868	69,829	—	69,829
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,037	2,474	721	21	3,599	4,477	15,331	△15,331	—
計	18,587	17,018	12,464	5,211	22,532	9,346	85,160	△15,331	69,829
セグメント利益 (営業利益)	790	2,551	818	2,618	695	8	7,482	△914	6,568

(注) 1. セグメント利益の調整額△914百万円には、セグメント間取引消去△106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△807百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損 益計算 書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	13,741	16,473	12,531	5,305	18,798	4,279	71,129	—	71,129
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,154	2,335	841	—	3,866	5,916	17,114	△17,114	—
計	17,896	18,809	13,372	5,305	22,665	10,195	88,243	△17,114	71,129
セグメント利益 (営業利益)	801	4,137	1,349	2,573	657	138	9,658	△1,077	8,580

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,077百万円には、セグメント間取引消去△335百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△742百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。